

EUSI メールマガジン Vol. 086

「2015年2つの選挙に見るスペイン政治とカタルーニャ政治の連関形態の変容」(加藤伸吾)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)

http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 068】

「2015年2つの選挙に見るスペイン政治とカタルーニャ政治の連関形態の変容」

加藤伸吾 (慶應義塾大学経済学部専任講師)

昨年末、スペインでは総選挙が行われた。またその前の昨年9月には、独立機運の高まるカタルーニャ自治州で、州議会選挙が行われた。日本の報道機関でもそれなりに取り上げられたようである。

2015年スペイン2つの選挙

まず、それぞれ結果を確認しておきたい。

総選挙では、前与党国民党(PP)が第1党の座を再び確保したが、2011年総選挙の時のように、上院に対する優越が規定されている下院での絶対過半数には遠く及ばず。社会労働党(PSOE)も同様だが、これは、日本でも報じられているように、左右双方に新党が出現したことによる。右の市民党と左のポデモスである。州議会選挙では、独立派連合ジュンツ・パル・シー(JxSi)が、辛くも州議会で過半数に届かずであった。

スペイン政治とカタルーニャ政治の連関

まず、従前のスペイン政治のパターンを確認しておきたい。

一言で言えば、国会下院の二大政党のうち与党が下院絶対過半数を持たない際、同じく下院にも議席を持つ、カタルーニャやバスクなど地域ナショナリスト政党、及び全国政党ながら議席数の少ない統一左翼(現在はUP)らの協力を得て政権運営を行っていた。

国民党と社会労働党の二大政党は、ゴンサレス PSOE 政権(1982-96)、アスナール PP 政権(1996-2004)、サパテロ PSOE 政権(2004-2011)と、与党が下院過半数を上回る176議席を持っていない時には、少数政党と法案など案件ごとに協力するのが常態であった。

その協力相手としてよく選ばれていたのが、カタルーニャ州議会でも長年与党だっただけでなく、下院にも隠然たる勢力としてあり続けた、カタルーニャ集中連合(CiU)である。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol68.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI ワークショップ「1963年危機と欧州統合の救済」

日時: 2016年3月2日(水) 17:00-19:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 B3 2B35 教室

講演: Oliver Bange (ドイツ国防省軍事史・社会科学研究所(ZMSBw)主任研究員)

「歴史の断片を繋ぎ合わせて——1963年危機と欧州統合の救済」

"Picking up the Pieces:

The Crisis of 1963 and the Rescue of European Integration"

討論: 小川浩之 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)

言語: 英語 (通訳なし)

参加: 無料・事前登録不要 (どなたでも参加できます)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/seminar-politics/2016-0302/>

2. 日本 EU 学会より以下のご案内が届いています

「第37回研究大会(2016年度)報告希望および『日本 EU 学会年報』執筆希望受付」

日本 EU 学会 第37回研究大会(2016年度)

日時: 2016年11月26-27日(土・日)

場所: 一橋大学 国立キャンパス

共通論題: 「自由・安全・正義の領域—難民・テロとEU—」

学会報告/年報執筆申込締切: 2016年3月6日(日)

原稿締切: 2016年10月20日(水)

(詳細は以下の日本 EU 学会 HP をご覧下さい)

<http://www.eusa-japan.org/?p=1002>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)

Yumiko Nakanishi, ed.,

Contemporary Issues in Environmental Law: The EU and Japan

(Springer, to be published 29 February 2016)

<http://www.springer.com/in/book/9784431554349>

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)

"The Economic and Monetary Union and the European Union's Competence Issues"

(EUSI Working Paper Series L-2016-01, 1 February 2016)

<http://eusi.jp/working-paper/wp-l-2016-01/>

【EU に関する新刊紹介】

伊藤武『イタリア現代史 第二次世界大戦からベルルスコーニ後まで』

(中公新書、2016年1月25日刊行)

<http://www.chuko.co.jp/shinsho/2016/01/102356.html>

本書の著者である伊藤武先生より、本書のご紹介を頂きました。

今 EU を揺り動かしている最大の危機は、移民問題と経済問題でしょう。

地中海の移民・難民ルートの玄関口に位置し、国債デフォルト危機に直面した南欧諸国中で最大の経済規模を持つイタリアは、いずれの危機においても、影の主役の座を占めてきました。

他方でイタリアは、1980年代に(一時的とはいえ)イギリスのGDPを追い抜き、1990年代には抜本的政治改革を果たして、平和裡に第二共和制への移行に成功します。

また欧州委員長のプロデー氏、ECB 総裁のドラージェ氏など、欧州の指導的人材も輩出しています。あたかもヤヌスの鏡のような二面性はどこから生まれてくるのか、長年イタリアを理解しようとする直面する難問です。

本書『イタリア現代史 第二次世界大戦からベルルスコーニ後まで』(中公新書、2016年)は、第2次世界大戦後のイタリアを対象とした通史ですが、そのような難問に少しでも近づこうとした本です。

はしがきは、共和国のエンブレムの話から始まります。そこに込められた様々な期待はどれ程実現したのかという観点を背後に、第2次世界大戦後に成立した第1共和制、1990年代に成立した第2共和制の2つの共和制の歴史を描きました。

本書の重点は内政に置かれていますが、イタリアの現代史はヨーロッパ統合や国際政治と不可分の間係を持ちながら展開してきました。その点に注目して、内容を紹介させていただきます。

...

(続きはこちら↓)

<http://eusi.jp/collaboration/report/ito-takeshi2016/>

伊藤武 (専修大学法学部教授)

【EUSI からのお知らせ】

これまでの「EUに関するニュース」を、この度 EUSI HP 上にアーカイブとして全てをまとめて掲載したページを新たに作成いたしました。近年の EU に関する動向を把握する上でご活用頂ければ幸いです。

EUSI HP「EUに関するニュース」(全件)

<http://eusi.jp/mail-magazine/eunews/>

【EUに関するニュース】

- 2016年1月15日 EU 経済・財務相理事会、銀行同盟進捗状況・2016年度欧州半期・経済成長予測などを協議
- 2016年1月16日 EU 理事会、昨年7月締結の包括的共同行動計画(JCPOA)施行を受け対イラン制裁解除を決定
- 2016年1月16日 モグリーニ上級代表、台湾総統選挙を受けて、民主主義の尊重と两岸関係発展支援の声明
- 2016年1月17日 モグリーニ上級代表、ジュデ・ヨルダン外相とシリア危機・難民問題・経済開発など協議
- 2016年1月17日 2016年欧州文化首都、ヴロツワフ(ポーランド)とサン・セバスティアン(スペイン)に決定
- 2016年1月18日 EU 外務理事会、シリア和平プロセス・リビア統一政府情勢・中東和平プロセスなどを協議
- 2016年1月18日 第16回 EU・アルメニア協力協議会、両者間協定交渉開始を歓迎、同国の改革進捗など協議
- 2016年1月18日 ストルテンベルグ NATO 事務総長、ポーランド訪問。NATO 首脳会合準備や同国の役割等評価
- 2016年1月19日 トゥスク常任議長、前月欧州理事会での難民危機・英国残留問題の審議を欧州議会に報告

- 2016年1月19日 モゲリーニ上級代表、リビア統一政府閣僚名簿発表を受け、同国政治合意履行を促す声明
- 2016年1月19日 UNHCR、EUに中央アフリカEU軍事ミッション(EUFOR FCA)一部要員が性的暴力との疑いの疑いの通告
- 2016年1月20日 欧州委員会、2900万ユーロの対ソマリア人道支援提供を発表
- 2016年1月20日 ハーン欧州委員(ENP担当)、ジョージア等との連合協定(FTA含む)の現況を欧州議会で報告
- 2016年1月20日 駐スウェーデンEU加盟国大使ら、人道支援NGO「Tearfund」の同国活動停止について憂慮の声明
- 2016年1月20日 モゲリーニ上級代表、パキスタンの大学襲撃テロ発生を受け、哀悼とテロ対策を謳う声明
- 2016年1月20-23日 世界経済フォーラム(ダボス会議)年次総会、モゲリーニ上級代表ら欧州委員9名が参加
- 2016年1月21日 ECB理事会、政策金利を据置き。下振れリスク増大と認識、次回理事会での追加緩和示唆
- 2016年1月21日 EU・スリランカ、統治や法の支配・人権問題の作業部会開催。同国憲法改正後の状況協議
- 2016年1月21日 EU、7700万ユーロのアフリカの角での人道援助提供を発表
- 2016年1月21日 駐中EU代表部、EU・中国外交関係40年『Crossover China-EU(不惑之交)』記録出版祝賀会
- 2016年1月21-22日 第4回EU・IAEA高官年次会議、核の安全や持続的成長・エネルギー研究など協力を協議
- 2016年1月22日 EU、中国が人権活動家P・ダーリン氏を拘束し懺悔告白の模様を放映したことに懸念の声明
- 2016年1月25日 EU・トルコ、ハイレベル政治協議をアンカラで開催。難民に関する行動計画の履行で一致
- 2016年1月25日 EUROPOL(欧州警察機構)、欧州テロ対策センター(ECTC)設立を発表。テロ資金等の情報共有
- 2016年1月25日 欧州委員会、2007-13年度実施の第7次研究・技術開発枠組計画(FP7)の評価報告書を発表
- 2016年1月25日 スウェーデン難民施設で、15歳の難民少年が女性職員を刺殺。同国で難民への懸念高まる
- 2016年1月26日 欧州委員会、EU教育事業「Erasmus+」初年度実施報告。65万人・18000件の事業に資金提供
- 2016年1月26日 欧州委員会と伊政府、銀行不良債権処理支援計画合意。市場価格に基づき不良債権証券化
- 2016年1月26日 EU、ジャカルタに駐ASEAN欧州連合代表部正式発足・業務開始。昨年8月8日に同代表部開設
- 2016年1月26日 カーニー・イングランド銀行総裁、英EU離脱の場合は英金融安定の措置取ると議会で証言
- 2016年1月26日 デンマーク議会、難民受入れを賄うため警察に難民の貴重品没収を許可する法案を可決
- 2016年1月26日 EU及び駐ミャンマーEU加盟国大使館、22日に同国が102名政治犯釈放したことに歓迎の声明
- 2016年1月27日 モゲリーニ上級代表、国際ホロコースト記念日に寄せ、反ユダヤ主義差別への対処の声明
- 2016年1月27日 欧州委員会、自動車認証制度に関してEU型式認証制度の大幅見直しを盛り込んだ法案提出
- 2016年1月27日 欧州委員会、自動車部品のカルテルにより三菱電機と日立に1.38億ユーロの制裁金を賦課
- 2016年1月28日 欧州委員会、人権・環境等の国際基準遵守を条件とするEU特惠関税制度GSP+の報告書発表
- 2016年1月28日 欧州委員会、企業の租税回避に対する包括的提案発表。効果的な課税や透明性向上等が柱
- 2016年1月28日 ストルテンベルグNATO事務総長、2015年次報告書発表。即応性行動計画やテロ対策等進展
- 2016年1月29日 キャメロン英首相、ユンカー委員長とブリュッセルで会談。EU改革案と英国民投票等協議
- 2016年1月29日 欧州委員会、公共調達市場でEUに差別的措置を取る域外国との交渉強化の新措置を提案
- 2016年1月29日 EU、人権派弁護士・活動家への不当な拘束など、最近の中国の人権状況に強い懸念の声明
- 2016年1月31日 トゥスク常任議長、キャメロン英首相とロンドンで会談。EU改革案に関し英と詰めの協議

2016年1月31日 モグリーニ上級代表、ジュネーブでのシリア和平協議開始を歓迎、シリア情勢懸念の声明

【編集後記】

淡い付き合いながら、会うのが楽しみという人がいます。

Patrick Reyners さんもそういう一人です。毎年この時期、Reyners さんは5日間の集中講義を行うためパリからやってきます。OECDの法務部門に長く勤務され、特に原子力関係の法律問題のエキスパートとして著名であり、70歳を超えた現在でも、世界中で研究・教育活動を続けています。

Reyners さんによれば、パリの様子はだいぶ落ち着いてきたとのこと。もっとも、街や駅のところどころに軍人の姿が増え、パリの姿は昔とは少し変わってしまったようですが、それでも人々の生活は徐々に元に戻っているようです。長年パリで暮らしてきた Reyners さんにとって、去年は残念なことが多い年でしたが、専門家としての目から見ても、欧州の状況には憂うべきことがまだまだ多いようです。

とはいえ、いつもスーツとネクタイで決め、よくとおる声で明快に話す Reyners さんの講義は迫力と魅力があります。その背景には、講義のために膨大な時間をかけての準備があるわけで、そのパワーと真摯な姿勢にはいつも感心させられます。静かで熱い Reyners さんの姿勢からエネルギーをもらい、EUSI のご縁の不思議さと、EUSI が世界中のこういう専門家のひとたちによって支えられていることに改めて感謝の念を抱いています。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン 編集担当)

この時期ヨーロッパ各地で見られるお祭りとしてカーニバルがあります。いわゆる謝肉祭で、起源は諸説ありますが、キリストの復活祭であるイースター(今年は3月27日)前の40日間は肉を断ち身を清め禁欲的な生活を送るという慣習から、この40日間に入る前の時期に肉を食べ酒を飲み宴を楽しむという祝祭として広まりました。現在では宗教的意味合いは薄れ世俗的な祭りとなっていることが多いようですが、今でもカトリックの色彩の強い地域を中心に、1月下旬から3月にかけてヨーロッパの至るところでカーニバルが開催されます。例えばリオと並んで世界三大カーニバルの1つである伊ベネチアでは、1月23日よりカーニバルが行われ、人々は仮面をつけながら通りを練り歩きます。他にも2月4日からは豪華な山車が大量の花やお菓子をばら撒きながら練り歩く独ケルンのカーニバル、2月7日からはダチョウの羽の大きな帽子をかぶった道化師ジルのパレードで彩られるベルギー・バンシュのカーニバル、そして2月12日からは花で飾られた山車による花合戦や電飾の中での夜のパレードで2週間で100万人の観光客を集める仏ニースのカーニバルなど、今後数週間にわたりヨーロッパ各地で様々な催し物が開催されます。また祭りという非日常の空間の中では単なる仮装や山車にとどまらず、世相をチクリと皮肉ったカーニバルもあちこちで見られます。例えばスペイン最大といわれるカディスのカーニバルでは政治や社会を風刺した歌を披露するのが祭りのハイライトとなっていたり、スイス最大のバーゼルのカーニバルでも山車から大量に撒かれるビラにバーゼル方言で書かれた政治的なメッセージやユーモアが込められていたり、伊・ヴィアレージョのカーニバルでは世相を反映した人物たちを風刺した巨大な山車が祭りの風物詩となっています。カーニバルとは、禁欲的な時期を迎える前の一時の歓喜の祝宴だけではなく、厳寒期の食糧節制の時期を乗り越え、ともに春を待ち焦がれるヨーロッパの人々の熱狂とエネルギーが凝縮された空間なのかもしれません。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン 編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
